

ナガエツルノゲイトウ (特定外来生物) に注意してください!



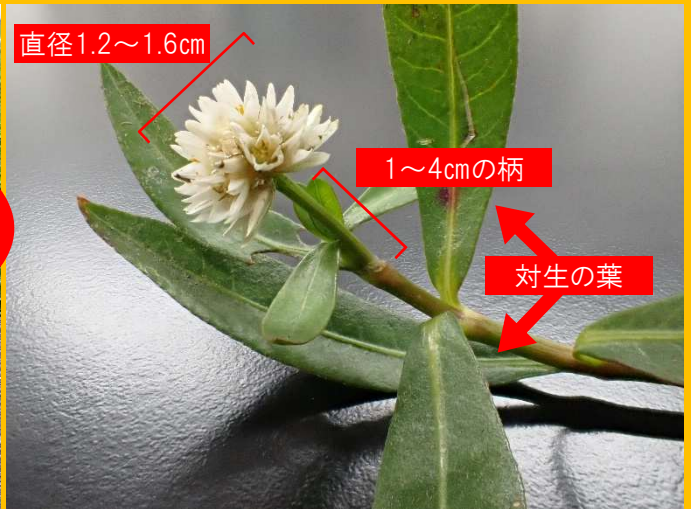
- ・ 畦畔、水路、水田、畑地等で生育。群落が大きくなると駆除は困難
- ・ 水路や河川で大群落になると駆除に莫大な経費が必要
- ・ 河川の可動堰等に大量に漂着すると故障の原因となる。



水田排水口周辺、農業用水路での生育状況(2024年7月3日撮影)



休耕田での生育状況(2024年7月3日撮影)



Q 特徴は?

- 抽水・湿生の多年生草本(南米原産)
- 花期は4~12月(愛媛県)白い花
- 種子はつけない。
- 茎の切片で繁殖
- 3か月以上の乾燥でも生育可能
- 茎は容易に折れて繁殖可能
- **驚異的な繁殖力と再生力**

ナガエツルノゲイトウは、再生力が強く、刈払い機等での機械除草の断片からも拡散して増殖します。駆除が困難なことから世界各地で問題となっている雑草です。

対策は、**早期発見と早期駆除**が重要になります。

ナガエツルノゲイトウ対策

① 監視体制

ナガエツルノゲイトウが確認されたら、同じ水系の上流に位置するため池や、用水路、河川に生育場所がある可能性があります。市町を横断した流域単位での対策が必要になる場合もあります。

② 抜き取り等による駆除（河川、水路等）

- ・生育初期の対策が効果的です。
- ・県内の河川環境の多くが水量の増減が激しく流速も早めです。地上部の生育と比較して根域が発達している場合も多いため注意が必要です。
- ・刈払い機等での駆除は、発生源となる残渣の回収が困難で、拡散を助長することから行わないで下さい。
- ・抜き取り時に容易に茎が千切れることから、ネット等で回収して下流域への拡散を防止します。
- ・抜き取った植物体は周囲に拡散しないように処理します。
- ・駆除に用いた道具や機械類は洗浄し、発生源とならないようにしましょう。

③ 除草剤による防除（農耕地に限る）

水田内、畦畔で登録のある除草剤を使用します。

【水田内】

薬剤名	使用時期	本剤の使用回数
ウィードコア1キロ粒剤	移植後7日～ノビエ4葉期 但し収穫60日前まで	2回以内

【畦畔】

ラウンドアップマックスロード	収穫前日まで(雑草生育期)	3回以内
ザクサ液剤	収穫7日前まで(雑草生育期)	2回以内
タッチダウンiQ	収穫14日前まで(雑草生育期)	2回以内

農作物病虫害等防除指針（令和6年）愛媛県から作成

【問い合わせ先】